

2020 年のオリンピック・パラリンピックを見据えた京都からの文化の発信について

【担当省庁】文部科学省、文化庁

東京オリンピック・パラリンピック招致委員会が国際オリンピック委員会に提出した「立候補ファイル」には日本文化に関する様々な「文化プログラム」を展開することとされている。

この点、京都は、我が国を代表する伝統芸能・工芸や、茶道・華道などの生活文化、伝統工芸などとともに、「和食」や着物に象徴される伝統的な衣食住の文化が息づき、更に映画・ゲーム・アニメに至るまで、日本文化の粋が集まっている。

このように、京都は日本文化の魅力を戦略的に発信する面で力を発揮できると考えており、東京オリンピック・パラリンピックの効果を全国に波及させるためにも以下の措置を講じていただきたい。

「京都文化フェア」の東京オリンピック・パラリンピック大会「大会開催基本計画」及び「文化プログラム」への位置付け

2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、世界の人々に日本の文化を体感いただく取組を、日本文化を代表する京都において国の実施するプログラムとして開催いただきたいので、現在、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会において検討が進められている大会開催基本計画及びこれに基づき策定される「文化プログラム」において、京都で開催する「京都文化フェア」を公式プログラムとして位置付けていただきたい。

京都府・京都市共同提案

「スポーツ・文化版ダボス会議（仮称）」等の京都開催

2020 年に国が目指す「世界の文化芸術の交流のハブ」となる上で、長い歴史の中で育んできた魅力的な文化資源と交流基盤をもつ京都の地で国際会議を開催することは極めて有意義であるため、以下の国際会議の京都開催を実現していただきたい。

1 スポーツ・文化版ダボス会議

日本で開催が予定されている初のスポーツ・文化版ダボス会議について、数多くの全国的なスポーツ大会を開催し、文化面においても豊富な人材と交流基盤を有する京都が開催地としてふさわしいと考えられるため、京都において開催していただきたい。

2 100 年記念駅伝 (2017 年)

今や国際語となった「E K I D E N」誕生百年を記念し、駅伝発祥地である京都からオリンピック・パラリンピックへつなげる「100 年記念駅伝」の開催を支援いただきたい。

3 世界博物館大会(2019 年)

国際博物館会議 (ICOM) 日本委員会が、2019 年世界博物館大会の開催国として京都市を会場に立候補を表明しており、博物館・美術館から日本文化を世界に発信する貴重な機会とするため、国としても誘致を支援いただきたい。

4 文化庁メディア芸術祭(2020 年)

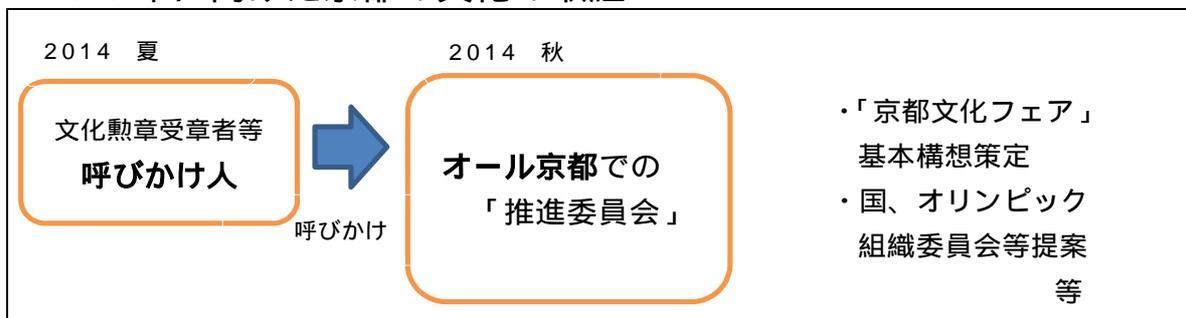
現在東京で開催されている文化庁メディア芸術祭を、「京都文化フェア」が開催される 2020 年に、映画・ゲーム・マンガなどコンテンツ関連産業やクリエイティブ人材が集積している京都で開催していただきたい。

「琳派 400 年記念祭」の国内外への発信

我が国の洗練された美意識、美術・工芸、生活文化に大きな影響を与えた琳派が誕生して 400 年にあたる 2015 年にオール京都で琳派を国内外に発信する「琳派 400 年記念祭」を開催することとしており、本事業を我が国の文化振興上重要な文化発信事業として、国内外に発信していただきたい。

< 現状・課題等 >

2020 年に向けた京都の文化の取組



(イベント内容のイメージ)

- ・ 京都の「ほんまもん文化」を発信する文化・観光イベント
寺社等を会場に人間国宝等の出演、国宝・重要文化財等の特別公開を多彩に展開
- ・ 祇園祭、五山の送り火、京の七夕等、京の年中行事との連携

- ・メディア芸術祭の誘致によるコンテンツ文化イベント
- ・伝統文化に勤しむ青少年の国際的な交流・発表イベント など

「文化芸術立国中期プラン」(文化プログラム)の概要 (文化庁 平成 26 年 3 月発表)
2020 年に「世界に敬愛される文化の国」となる「成熟社会の新モデル」

<p>人をつくる 文化芸術による「創造力・想像力」豊かな子供の育成(体験の充実)、芸術教育者・専門人材の育成、高度な芸術家の育成、<u>伝統芸能等の後継者・伝承者の養成</u></p> <p>地域を元気にする 文化財保存修理の抜本的強化、地域の文化資源を生かしたまちづくり、創造都市ネットワークからの発信</p> <p>世界の文化交流のハブとなる(クールジャパン戦略関連) 日本の伝統的な工芸、芸能や生活文化(衣・食・住)の海外発信、海外での日本文化の総合的な紹介イベントの開催、国内芸術フェスティバルや国際会議の開催</p>	<p>(京都府からの提案)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「高校生伝統文化フェスティバル」の京都開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとづくりの求心力となる全国イベント ・伝統芸能を生かしたまちづくり ・東アジア等との交流 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>スポーツ・文化版ダボス会議 世界博物館会議 文化庁メディア芸術祭 の京都開催</p> </div>
---	--

京都が長い歴史の中で育んできた魅力的文化資源と交流基盤を活かした国際会議の京都開催

<スポーツ・文化版ダボス会議>

世界各国の政治・経済界のトップリーダーやアスリート、文化人らが一堂に会し、スポーツや文化・芸術の可能性・課題について話し合う。成果は、2020 年五輪大会の運営に活かすほか、大会終了後も地域での実践や情報発信につなげ、日本がスポーツや文化における世界的拠点となることを目指す。

2016 年又は 2017 年に、日本での開催が予定されている。

【京都を開催地とする主な国際・全国等スポーツ大会】

(国際大会)

- ・国際親善ブレ大会「第 14 回 2014 歴史街道丹後 100kmウルトラマラソン」
- ・UCI (国際自転車連盟) 公認ツアーオブジャパン (平 27 ~)
(開催に向け調整中)
- ・ワールドグランドチャンピオンズカップ 2013 (男子バレーボール)
- ・FIVBワールドリーグ 2014 インターコンチネンタルラウンド (男子バレーボール)
- ・GSユアサ女子オープンテニス、島津全日本室内テニス選手権大会 (共に毎年)

(全国大会)

- ・全国都道府県対抗女子駅伝、全国高等学校駅伝競走、全国車いす駅伝競走
- ・関西学生対校駅伝競走大会 (丹後大学駅伝)、TANTANロングライド (いずれも毎年)

<世界博物館大会>

世界の博物館の進歩発展のために尽くす博物館の専門組織であり、歴史や美術、考古学、民俗、科学、技術、自然史などの博物館関係者の世界的な集まりである国際博物館会議 (ICOM) が 3 年に 1 回開催する大会

国際博物館会議 (ICOM) 日本委員会が、平成 26 年 3 月に 2019 年大会の開催国として京都市を会場に立候補することを決定。平成 27 年 6 月に各国代表による投票により開催地が決定される予定

<文化庁メディア芸術祭>

文化庁メディア芸術祭実行委員会(文化庁、国立新美術館)が主催し、メディア芸術の創造とその発展を図ることを目的に、1997年度から毎年実施されているアートとエンターテインメントの祭典。アート部門、エンターテインメント部門、アニメーション部門、マンガ部門の4部門について大賞と優秀賞を選定、表彰

京都の交流基盤を活かした国際戦略的な取組の展開

<琳派400年記念祭>

趣 旨 我が国の洗練された美意識、美術・工芸、生活文化に大きな影響を与えた「琳派」の始祖の一人、本阿弥光悦が徳川家康から鷹峰の領地を拝領した1615年から400年目にあたる2015年(平成27年)を節目として記念事業を実施

会 期 平成27年1月1日～12月31日

内 容 ・記念フォーラム等の事業展開
・文化、産業団体ネットワークとの連携
・各種広報パンフレットの作成、広報



琳派400年記念祭委員会設立
(平成26年6月2日京都市東山区・建仁寺)

文化庁文化芸術創造都市振興室(通称：関西分室)と連携した京都の文化力による文化の戦略的な発信

<文化庁文化芸術創造都市振興室(通称：関西分室)>

経過：平成19年1月「関西元気文化圏推進・連携支援室」を京都国立博物館内設置
24年4月 京都府庁旧本館に移転
26年4月「文化芸術創造都市振興室」に名称変更

室長：佐々木雅幸同志社大学特別客員教授

活動内容：・文化芸術創造都市の推進
・2020年文化プログラム実施に向けた対応
・関西元気文化圏の推進

【京都府の担当部局】

文化環境部	文化政策課	075-414-4217
	文化芸術振興課	075-414-4219
	文化交流事業課	075-414-4244
	スポーツ振興課	075-414-4252